

簡易電気柵の設置ガイド



～サルにも負けず、イノシシにも負けず・・・～

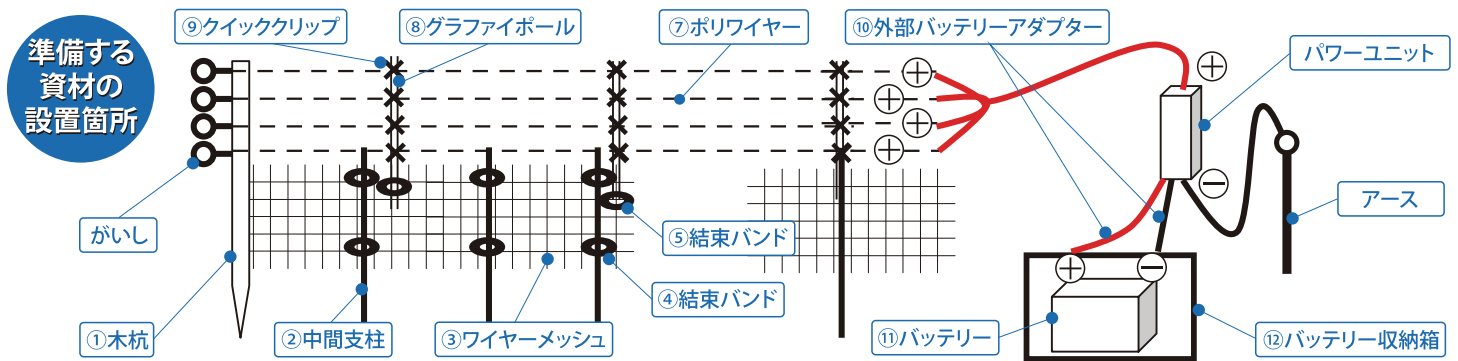
準備する
資材

畑の広さにあわせて必要な資材を購入してください。⑥、⑦、⑧、⑨、⑩以外はお近くの資材販売店等で入手可能なものばかりです。⑥、⑦、⑧、⑨、⑩の購入先は、電気柵部品販売メーカー等で購入してください。

※畑の大きさ 20×20m(総延長80m)とした場合:購入費用約6万円程度

資材名称	数量	目安単価 (円)	目安金額 (円)	備考	対象鳥獣と準備資材			
					サル イノシシ	イノシシ (簡易)	シカ	ハクビシ クマ タヌキ
①木杭(長さ180cm:畑の四隅に使用)	4本	300	1,200	①②は手持資材を使用することで節約可能				
②中間支柱(延長1m毎に1本)	76本	160	12,160 <small>(切断料金は別途必要。 1カット50円程度)</small>	②はビニルハウス用パイプ(φ1.9mm,5.4m)を資材販売店で1/4に切断してもらい、1.35mにすると効率的。片方の先を金づちで潰します。	○	○	○	○
③溶接金網(ワイヤーメッシュ)	40枚	300	12,000	1×2mのもの(10cm格子)	○			
④結束バンド(別名:インシュロック 長さ25cm程度)	3セット	300	900	中間支柱と溶接金網の固定に使用	○			
⑤結束バンド(長さ10cm程度)	1セット	300	300	グラファイポールと溶接金網の固定に使用	○			
⑥電気柵100mキット <small>(パワーユニット1個、グラファイポール25本、 ポリワイヤー200m、クリップ50個等が付属)</small>	1セット	20,790	20,790	電気柵部品販売メーカーより購入 単一乾電池6本使用 1.3秒間隔で7,000ボルトの電圧を発生	○	○	○	○
⑦架線段数追加資材キット <small>(ポリワイヤー200m、クリップ50個等が付属)</small>	1セット	5,040	5,040		○		○	○
⑧グラファイポール8型	11本	180 (※580)	1,980 (※6,380)	シカは10型を使用	○		※10型	
⑨クイッククリップ8型	44個	40	1,760	シカは10型を使用	○		※10型	
⑩外部バッテリーアダプター(単1電池使用の場合は不要)	1セット	1,260	1,260		○	○	○	○
⑪バッテリー(単1電池使用の場合は不要)	1基	2,000	2,000	自動車用(12V)、充電必要。 一度の充電で3ヶ月くらいは使用可能。	○	○	○	○
⑫バッテリー収納箱	1個	0	0	押入収納ケースを使用することで経費節減可能	○	○	○	○
計			59,390		59,390	37,410	50,590	42,450

※⑥のキットに含まれているポリワイヤー、グラファイポール及びグラファイポールの数量では不足するので、⑦⑧⑨を追加で準備して下さい。



◆ 設置上の注意!

サルは電気柵から容易に侵入できないと分かると、畑に直接飛び込もうとします。これを防ぐため、周囲の高い樹や建物から離す(高さにもよりますが、3~4m程度)とともに、枝は伐っておきましょう。

◆ 電気柵が成功するか失敗に終わるかは維持管理次第!

サルも畑の作物を食べようと必死ですから、どうにかして感電しない侵入口を探すので、何回かは侵入されるかもしれません。しかし、一度侵入を許したからといって「電気柵は役に立たない。」と諦めてしまうのではなく、「なぜ侵入されたか。どこがいけなかったのか。」を検討しましょう。必ず原因があります。それを考え、対策を施しましょう。

サル対策は被害地域ぐるみで取り組むことが必要です。うまくいったら、近所の方にも是非、紹介してあげてください。「あんなのところで電気柵作ったせいで、今度は私の畑を荒らしていった」という声に、撤去するようなことはしないで下さい。積雪に耐えられる構造ではないので、冬の間は撤去して下さい。

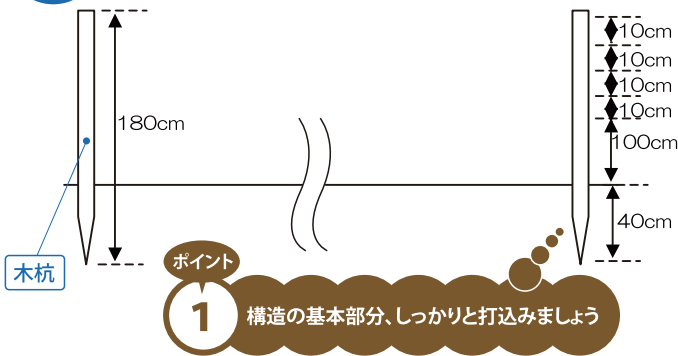
◆ 漏電注意!メンテナンス(草刈りの実施)!!

電気柵周辺の草が伸びて、草がポリワイヤーに接触すると漏電する可能性がありますので、草刈りをしましょう。

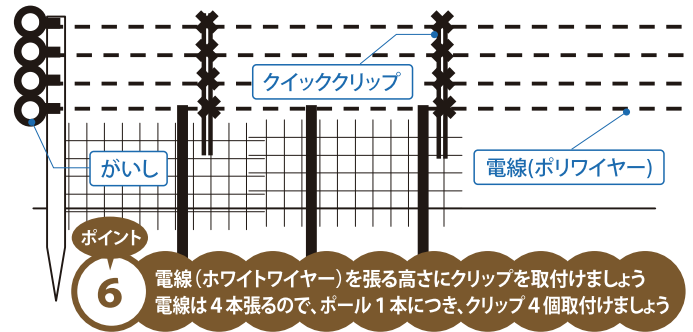
電気柵の設置手順

(実物はねいの里で展示しています。)

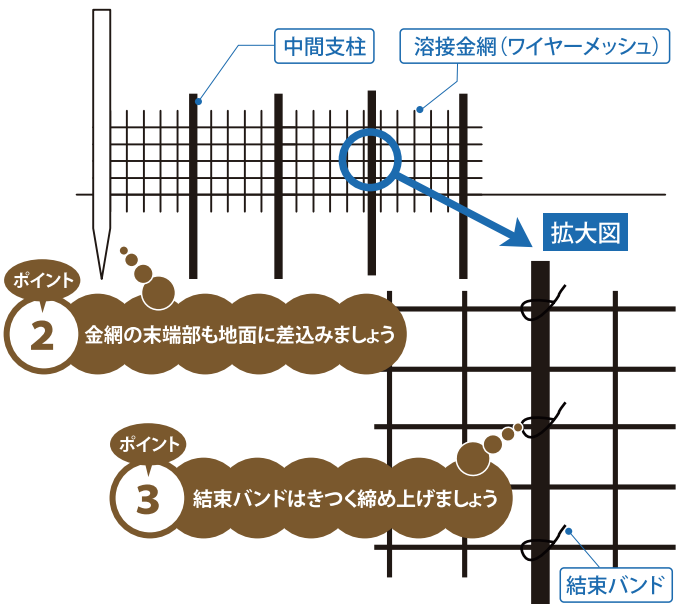
1 四隅に杭を打ちます



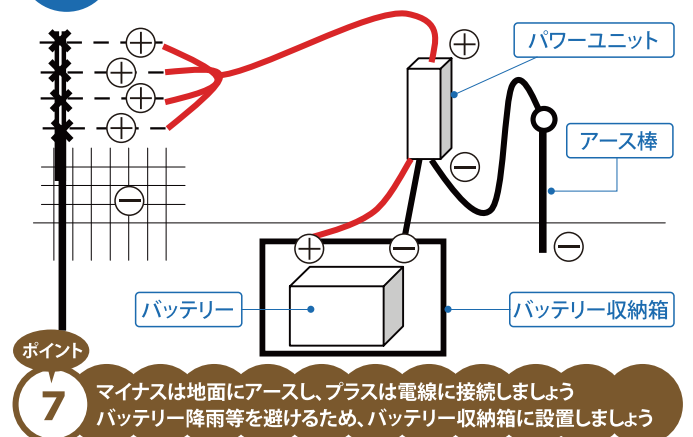
4 グラファイポールにクイッククリップ(四隅はがいし)を取り付け、電線を張ります。



2 中間支柱を約1m毎に打ち込み、溶接金網を立掛け、結束バンド(25cm)で固定します。(キットに添付の説明書により出入口を設置します)

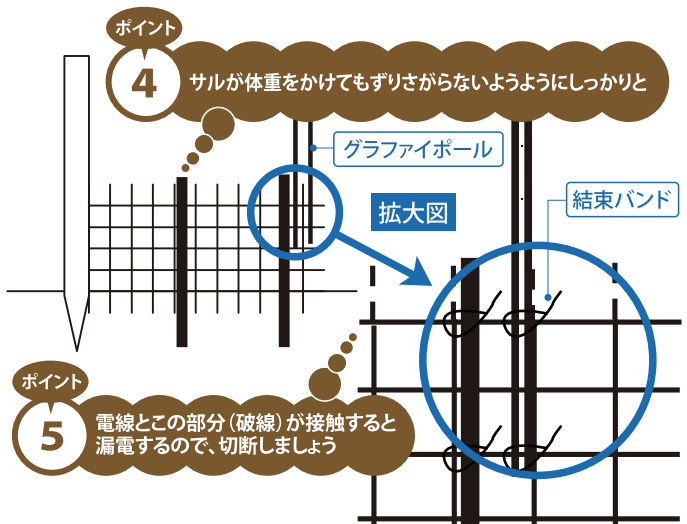


5 パワーユニットを取り付けます



6 パワーユニットの取扱説明書に従い、作動確認します。溶接金網と電線を同時に握った時、電流が流れます。(くぐり抜けようとして体毛が触れているだけでは電流は流れないので、電線同士・電線と溶接金網の間隔には注意が必要です。)

3 溶接金網にグラファイポール(キット付属)を約2m毎に、溶接金網に縫い込む様に差込み、結束バンド(10cm)で上下2箇所を固定。



写真では中間支柱に等辺山形缶鋼(L字型の金属製杭)を使用 写真提供:赤座久明氏

問合せ先

朝日町有害鳥獣対策協議会(朝日町役場産業課内)

TEL. 0765-83-1100